

様式第2号（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称		第2回川島町総合振興計画審議会
開 催 日 時		令和4年11月28日（月）午前10時から正午
開 催 場 所		川島町役場 中会議室
議 題		（1）川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
公開・非公開の別		公 開（傍聴者0名） ・ 非公開 ・ 一部非公開
非公開の理由 （非公開の場合のみ）		
出席者	委員	鈴木委員、今井茂夫委員、鹿山委員、利根川委員、中島委員、丸山委員、石島委員、猪鼻委員、今井敏義委員、堺委員、西村委員、矢田堀委員、町田委員、小林委員
	事務局職員	政策推進課 藤間課長、友野主幹、北尾主査、品川主任
配 布 資 料		会議次第、資料4
審議会等の内容・概要		
<p>1. 開 会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議事</p> <p>（事務局より議事に入る前に、川島町審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議は原則公開であることを説明する。なお、会議録を公開するが、発言委員名は記載しない旨で委員より了承を得る。）</p> <p>会 長：議事録署名委員を指名する。鈴木委員、今井茂夫委員を指名する。</p> <p>（1）川島町総合振興計画及び川島町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について</p> <p>（事務局にて先週に引き続き資料4について、代表事業ごとに説明。以下意見等があった事業についてのみ記述する。）</p> <p>（戦略目標2 つなぐ 重要施策1「つどいの場の創出」）</p>		

委員：具体的にどんな活動しているのか。

事務局：子どもが出丸と小見野の旧小学校にて、勉強を地域の人に教えてもらったり、また工作やスポーツなどの様々な講座を受けたりしている。

委員：2つの旧小学校で事業を行っているが、旧小学校まで行く方法のフォローは、どう進めているのか。

事務局：土曜日なので、親に送迎してもらおう前提になっている。行く方法については課題である。コーディネーターの育成とともに検討したい。

委員：2,740人を59回で割ると、1回当たり46人と結構集まっている印象がある。

事務局：講座のテーマによっては、集まる人数に変動がある。

（戦略目標2 つなぐ 重要施策2 「新しい自治体コミュニケーションの推進」）

委員：かわじま未来塾の活動数だけで、住民力結集事業の評価はできるのか。

会長：見込みのとおり、この指標のみで評価することは困難だ。引き続き検討が必要。

事務局：全体の施策を通してだが、この資料に載せているのは代表事業のみであり、施策に関連する事業はもっとある。すべての事業をご審議いただくのは難しいので、代表的な事業を設定している。

（戦略目標2 つなぐ 主な施策3 「多文化共生の推進」）

委員：川島町のアパートは外国人を受け入れてくれない場合が多い。また、外国人を支援するボランティアが増えない。社会福祉協議会が福祉のボランティアだけでなく、外国人支援のボランティアを一手に引き受けてもらえるとありがたい。

委員：言葉が通じないから、近隣住民の理解がないとなかなか受け入れが難しい。またお互いに考慮し合うようにしていかないと、共生社会は進まない。

事務局：共生社会が進むよう検討していく。

（戦略目標2 つなぐ 主な施策4 「青少年の地域参加の推進」）

会長：目標が0件だが、検討過程を記載するなど、表記の仕方を変えるべきである。

事務局：表記の仕方については、検討する。

（戦略目標2 つなぐ 主な施策5 「新しいつながりの創出」）

委員：ふるさと納税のサイトによって、返礼品数が少ないのは改善して欲しい。

委員：返礼品が少ないので、皆さんのいろいろな方面で商品の数を増やせたらいい。

委員：若い人やテレビ受けのする、遊覧飛行やダイビングといった返礼品をアピールしたほうがいい。

事務局：今後返礼品が増えるよう検討していく。

（戦略目標 2 つなぐ 主な施策 6 「文化材の保護・活用及び伝統文化の継承」）

会 長：評価指標の目標について、令和 6 年度まで開設準備となっているが、会議の開催や基礎設計だと段階を踏んだ目標にするのがいいのではないか。

事務局：検討する。

（戦略目標 3 つくる 評価指標）

会 長：集計中とのことで、また来年度に審議いただければと思う。

事務局：来年度の審議でお願いします。

（戦略目標 3 つくる 重要施策 1 「川島インターチェンジ周辺整備の推進」）

委 員：インター南地区の開発だけでなく、東部地区の活性化という意味でも、東部地区の開発も必要ではないか。

会 長：評価の指標について、進捗でみているので表記の仕方について工夫が必要である。

事務局：表記の方法については、検討する。

（戦略目標 3 つくる 重要施策 2 「地域資源の総動員による稼ぐ力の向上」）

事務局：本事業は国の交付金を活用して実施している。令和 5 年度以降の実施にあたり、人材育成や観光振興に注力するため、事業内容や経費等を拡充するとともに、目標値等を見直すことを想定している。

委 員：成果を出すためには町内事業者で総力を挙げて盛り立てていかないと、うまくできない。ぜひみんなで協力をお願いしたい。

事務局：事務局からもお願いします。

（戦略目標 3 つくる 主な施策 2 「地域特性を活かした農業振興」）

委 員：食料の不足問題は世界的な問題でもあるので、新規就農者に対しては適切な支援をお願いしたい。

委 員：新規就農だけでなく、既存の農家の支援、例えば農業者の法人化も支援していったほうがいい。

委 員：農業者だけでなく、消費者の理解も必要であると思う。

事務局：意見を担当課に伝え、進めていきたい。

（戦略目標 3 つくる 主な施策 3 「地域資源を活かした観光資源」）

事務局：情報発信の強化を図るため、令和 5 年度以降の実施にあたり、国の交付金の活用を予定している。事業内容等を拡充するとともに、関連する目標値を見直す。

委員：コロナ禍の影響を受けたが、今年は徐々に回復するかと思う。情報発信の強化は必要だが、町で観光に関わる施設整備をやっていかないと、交流人口の増加など成果を出すことは難しいと思う。

事務局：意見を担当課に伝える。

（戦略目標 3 つくる 主な施策 6 「官民連携の推進」）

委員：価値がないと民間企業は動いていかない。また官で施策をしっかりと打ち出さないと、民間企業は資金提供を決断できない。PPP/PFI は官民が一体となってやっていかないといけない。

事務局：東洋大学と協定を結んで協議している中で、官民の役割を明確にしないと難しいとの指摘も受けている。今後協議しながら、進めていきたい。

（戦略目標 4 そだてる 需要施策 1 「夢を育む新たな学校づくり」）

会長：令和 4 年度の目標が協議・研究で令和 3 年度の実績が協議・研究になっており、目標を先取りしているような感じがするが、評価は B となっている。B である理由がなにかあるのであれば、評価の考え方に記載するべき。

事務局：評価の考え方について、担当課に確認する。

（戦略目標 4 そだてる 主な施策 3 「心と体を育む教育環境の整備・充実」）

委員：体験学習のボランティアの人数も学校応援団の人数に入っているので、コロナ禍で活動が制限されてしまい、学校応援団の人数も減ってしまったのかもしれない。

事務局：令和 3 年度については、コロナ禍で、事業ができないまたは縮小した事業は多い。

（戦略目標 4 そだてる 主な施策 4 「多様な学習機会の充実」）

委員：評価指標の各種事業を実施できる人材とは、具体的にどのようなことをするのか。

事務局：地域学校協働活動推進事業に協力していただいている人である。

（戦略目標 4 そだてる 主な施策 5 「心と体を育む教育環境の整備・充実」）

委員：かわみんハウスは町外の方も利用できるのか。


事務局：利用できる。

会長：一通り、皆さまのご協力のおかげ長時間にわたったが、内容を確認できた。この後の作業だが、委員の皆さまにいただいた意見を基に、私と事務局の方で最終的な調整をして、出来上がったものを答申し、委員の皆様にも答申をご報告すると

いう手順を進めていきたいと思うが、そういった形でご了承いただきたい。

委員：異論なし。

4. 閉会

署 名	鈴木 治	
	今井 茂夫	